

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	検査・測定法Ⅱ (演習)	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	月曜 1限
担当教員	村田 薫克 中東 大				
授業概要	今まで学習した人体の構造や検査・測定法の知識をベースに、関節可動域測定(日本整形外科学会と日本リハビリテーション医学会による)・徒手筋力検査法の続きを実施していきます。まずはこの2つの評価法の基本手技を確実に覚えていただきます。				
学習目標	①関節可動域検査(日本整形外科学会と日本リハビリテーション医学会が制定)の意義を理解する。 ②徒手筋力検査法の意義を理解する。 ③基本基準(基本軸・移動軸・参考可動域や肢位・抵抗のかけ方等)と実施方法を覚える。 ④ランドマークを触知できる。 ⑤評価手技の代償動作に考慮して正確に実施することができる。 ⑥適切なハンドリングを行うことができる。 ⑦今回の授業で学ぶ検査、測定の結果を正しく解釈することができる。				
回数					担当教員
1回目	肩甲帯の屈曲・伸展・挙上・下制、肩屈曲・伸展・外転・内転のROM			村田 / 中東	
2回目	肩外旋・内旋(セカンドも含む。サードは紹介まで)、水平屈曲・水平伸展、肘屈曲・伸展のROM			村田 / 中東	
3回目	前腕回外・回内のROM、肩甲骨外転と上方回旋のMMT			村田 / 中東	
4回目	肩甲骨挙上、肩甲骨内転、肩甲骨下制と内転のMMT			村田 / 中東	
5回目	肩甲骨内転と下方回旋、広背筋のMMT、肩甲骨のROMとMMTの総復習			村田 / 中東	
6回目	小テスト①(肩甲骨関係)と知識の振り返り、肩関節屈曲、伸展、外転のMMT			村田 / 中東	
7回目	肩関節水平外転・水平内転、肩関節外旋・内旋のMMT、肩関節のROMとMMTの総復習			村田 / 中東	
8回目	小テスト②(肩関節関係)と知識の振り返り、肘関節屈曲・伸展のMMT、			村田 / 中東	
9回目	前腕回外・回内のMMT、手関節掌屈・背屈、撓屈・尺屈のROM、母指の橈側外転・尺側内転のROM			村田 / 中東	
10回目	母指の掌側外転・掌側内転、母指と手指の屈伸、母指と手指のその他の部位のROM、手関節掌屈・背屈のMMT			村田 / 中東	
11回目	小テスト③(肘、手関節関係)と知識の振り返り、MP屈曲、PIPとDIPの屈曲のMMT			村田 / 中東	
12回目	指外転・内転、MP伸展、母指MPとIPの屈曲・伸展・外転・内転、母指と小指対立のMMT			村田 / 中東	
13回目	頭頸部屈伸・回旋・側屈のROM、頭頸部の動き(頭部、頸部)チェック、頭頸部屈伸、回旋のMMT			村田 / 中東	
14回目	顔面筋のMMT確認(眼輪筋、口輪筋、雛眉筋)、指関節と頭頸部と顔面筋のROMとMMTの総復習			村田 / 中東	
15回目	小テスト④(指関節、頭頸部、顔面筋関係)と知識の振り返り、実技試験に向けての練習			村田 / 中東	
教科書及び参考書	新・徒手筋力検査法(原著第10版) 理学療法評価学(改訂第6版)				
成績評価	実技試験(60%)、小テスト(40%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
・関節可動域測定(日本整形外科学会、日本リハ医学会基準による)、徒手筋力検査法は理学療法士の最も基礎的な評価であり、正確性を求められる評価でもあります。正確に体现できるようにしてください。 ・局所的な解剖学・運動学の知識がないと結果から問題点が考察できません。足りない知識は各自で準備をしてください。 ※実技科目のため授業内容及び進度は必要に応じて変更する場合があります。その際は事前に連絡します。 ※新型コロナウイルスの影響で実技試験が不可能な時は定期試験を実施(実技試験を定期試験に換算)します。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
村田 大学病院、整形外科クリニック等で勤務した経験から最先端の知識を習得している。その知識を活かし、特に整形外科疾患に対する評価の解釈などを取り入れ、より実践的な授業にする。 中東 急性期病院、維持期病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム、クリニック等で働いた経験から得た知識を活かし、検査の基本手技だけでなく、実際の臨床ではどのようにやるのかなども伝えていく。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習(脳血管障害)	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	月曜・2限
担当教員	富久 哲郎				
授業概要	脳血管障害に対する治療は、遺伝子組み換え型組織プラスミノゲンアクチベーター(rt-PA)や脳卒中治療専門病棟(SU)の導入など日々進歩している。 この治療の進歩に対して、理学療法もボツリヌス治療を用い痙縮を抑え、下肢装具を用いた歩行練習を行うことで実用性の高い歩行能力の獲得する、といった成果を上げている。 また、近年の脳画像解析の進歩で脳の機能がより理解できるようになり、神経学的評価と脳画像を基にした脳の評価を行うことで障害の予後予測(未来)を知ることができるようになった。 このようなことが、より効率的な理学療法を可能にしていると思う。 この授業では、中枢神経の解剖生理学を復習し、脳血管障害の病態を確認することで、理学療法士が行う評価について理解し、最新の治療につなげることを目的とする。				
学習目標	1.脳血管障害理学療法に求められる解剖生理学の知識を習得する。 2.脳血管障害の病態について理解する。 3.脳画像を含めた脳血管障害理学療法における評価について理解する。 4.臨床で行われている脳血管障害理学療法の治療について理解する。				
回数					担当教員
1回目	解剖生理学の知識:大脳の構造と機能(大脳皮質、海馬、扁桃体、大脳基底核)				富久 哲郎
2回目	解剖生理学の知識:脳のシステム①(脳幹網様体、視床、中脳、橋、延髄、小脳)、確認テスト①				富久 哲郎
3回目	解剖生理学の知識:脳のシステム②(ニューロン、シナプス、シナプス可塑性)、脳の血管				富久 哲郎
4回目	脳卒中の病態と治療:脳卒中の原因と病態(病型分類、虚血性脳卒中、脳出血、くも膜下出血)、確認テスト②				富久 哲郎
5回目	脳卒中の病態と治療:脳卒中に対する内科的治療(脳梗塞急性期-発症4.5h以内、rt-PA治療、抗血小板療法と抗凝固療法)				富久 哲郎
6回目	脳卒中の病態と治療:脳卒中に対する外科的治療(脳動脈瘤、脳動静脈奇形)、反復経頭蓋磁気刺激、ボツリヌス治療、確認テスト③				富久 哲郎
7回目	脳卒中の病態と治療:急性期脳卒中リハビリテーション(運動麻痺回復のステージ理論、随意運動の2つの運動制御系、痙縮の発現メカニズムと治療)				富久 哲郎
8回目	評価の知識:ADLと総合評価(ICF、ADL評価、総合評価)、確認テスト④				富久 哲郎
9回目	評価の知識:運動機能検査①(ブルンストロームの回復段階指標、12段階片麻痺回復グレード、筋緊張の評価)				富久 哲郎
10回目	評価の知識:運動機能検査②(運動失調の検査、バランス検査、pushingの評価)、確認テスト⑤				富久 哲郎
11回目	評価の知識:動作分析(予測的姿勢調節、身体中心;COG、圧中心;GOP、歩行分析、ZMPとCOP)				富久 哲郎
12回目	評価の知識:画像からみた脳の障害と可能性(運動線維系、感覚線維系、脳損傷画像の時間経過)、確認テスト⑥				富久 哲郎
13回目	理論と理学療法:早期運動療法(ステージ理論に基づいた理学療法、Hebb則)、装具療法				富久 哲郎
14回目	理論と理学療法:回復期の運動療法(寝返り、起き上がり、立ち上がりの評価とアプローチ)、確認テスト⑦				富久 哲郎
15回目	まとめ				富久 哲郎
教科書及び参考書	脳卒中理学療法の理論と技術 第3版、病気がみえるvol.7脳・神経 第2版、標準理学療法学 神経理学療法学 第2版、動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践				
成績評価	定期テスト(80%)、確認テスト(20%)、欠席1回3点減、遅刻1回1点減				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に必ず復習し、疑問点は質問しましょう。 ・中枢神経系の解剖生理学と脳血管障害の病態に伴う評価・治療を理解し、実習・国家試験につながるようにする。 ・復習を怠ると、授業についていけないようになるため、学習時間を各自で必ず確保すること。 ・期末試験範囲は授業で行った全範囲とし、試験前に内容等は公表しない。 ・再試験問題は本試験問題とは全面的に異なるため、本試験で合格するよう努力すること。 ・2,4,6,8,10,12,14回目の授業、残り10分で確認テストを行います。 					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
病院、介護老人保健施設では、脳血管障害の患者様を数多く担当しました。 臨床経験で得た脳血管障害の病態から評価・治療に結びつけるための知識を、中枢神経の解剖生理学から理論的に解説し理解できるように授業を進めていきます。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間関係学Ⅱ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT3・後期
				曜日・時限	火・1限
担当教員	富久 哲郎				
授業概要	<p>脳の機能は運動や感覚を担当するだけでなく、記憶や注意、判断といった考えることも脳の機能である。それだけではなく、話したり聞いたり、怒りや感情も脳機能の一つである。脳が損傷すると、たとえ麻痺がなくても、記憶や注意力、判断力、言葉の理解や発語に影響が出て人間関係が損なわれてしまうことがある。</p> <p>理学療法士を目指すとき、高次脳機能の専門知識を身につけ、治療を行うと同時に、誤解を受けやすい高次脳機能障害の患者の立場を理解し良好な人間関係構築を実現することは非常に重要である。このような立場から本授業では、高次脳機能障害の原因や病態を理解し、適切な理学療法評価から治療手段を導き出すとともに良好な人間関係を構築できる知識の習得を目標とする。</p>				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.人間関係に必要な高次脳機能障害の知識について学習する。 2.高次脳機能障害を有する患者との人間関係構築について学習する。 3.高次脳機能障害の病態を理解する。 4.高次脳機能障害の理学療法評価について学習する。 5.高次脳機能障害の理学療法アプローチについて学習する。 				
回数					担当教員
1回目	盲点から体験する高次脳機能障害、高次脳機能とは？				富久 哲郎
2回目	高次脳機能と認知機能、認知機能とは？、右脳と左脳				富久 哲郎
3回目	高次脳機能障害を理解するために必要な脳機能①、確認テスト①				富久 哲郎
4回目	高次脳機能障害を理解するために必要な脳機能②、高次脳機能障害と人間関係、高次脳機能障害と理学療法				富久 哲郎
5回目	前頭葉の機能、前方領域と後方領域、内側前頭前野				富久 哲郎
6回目	外側前頭前野、前頭前野機能のまとめ、確認テスト②				富久 哲郎
7回目	眼窩前頭野の損傷(脱抑制、人格障害)、前帯状回の損傷(発動性低下)、外側前頭前野の障害①(注意障害の病態)				富久 哲郎
8回目	外側前頭前野の障害②(注意障害の評価、注意障害に対するアプローチ、遂行機能障害)				富久 哲郎
9回目	優位半球の障害(失語症)、確認テスト③				富久 哲郎
10回目	非優位半球の障害(半側空間無視①)				富久 哲郎
11回目	非優位半球の障害(半側空間無視②、身体失認、病態失認)				富久 哲郎
12回目	後頭葉の障害(視覚性失認、相貌失認)、側頭葉の障害(記憶障害)、確認テスト④				富久 哲郎
13回目	頭頂葉の障害(失行症)、4葉のまとめ				富久 哲郎
14回目	Pusher現象とは、Pusher現象の責任病巣				富久 哲郎
15回目	Pusher現象に対する評価とアプローチ、確認テスト⑤				富久 哲郎
教科書及び参考書	<p>授業スライド、脳卒中理学療法の理論と技術 第3版、病気がみえるvol.7脳・神経 第2版、標準理学療法学 神経理学療法学 第2版配付資料、PT・OTのための高次脳機能障害ABC、高次脳機能障害に対する理学療法</p>				
成績評価	定期テスト(80%)、確認テスト(20%)、欠席1回3点減、遅刻1回1点減				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に必ず復習し、疑問点は質問しましょう。 ・高次脳機能障害の病態に伴う評価・治療を理解し、誤解なく患者と人間関係を構築できるようになる。 ・家族や施設スタッフに対して、正しい高次脳機能障害の知識を伝えることで、患者の(人的)環境改善につながることを理解する。 ・復習を怠ると、授業についていけないようになるため、学習時間を各自で必ず確保すること。 ・期末試験範囲は授業で行った全範囲とし、試験前に内容等は公表しない。 ・再試験問題は本試験問題とは全面的に異なるため、本試験で合格するよう努力すること。 ・2,4,6,8,10,12,14回目の授業、残り10分で確認テストを行います。 					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>病院、介護老人保健施設では、脳損傷による高次脳機能障害の患者様を担当していました。臨床経験で得た高次脳機能障害の病態を伝え、人間関係構築の障害となる原因を把握できるような授業を行いたい。</p>					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	物理療法学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・2年次
				曜日・時限	火曜日・2限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	物理療法は、生体が元来有する自然治癒力を活かしていくために、熱・光・電気・力などの物理的エネルギーを加えることによって治療効果を得ようとするものであり、各治療法の作用機序、適応と禁忌、実施上の注意点を理解することが重要である。個々の物理療法が使えるだけでなく、状態に応じて使い分けができるようにする。また、国家試験問題にも対応できる知識の習得をする。				
学習目標	①物理療法の種類を理解する。 ②疾患に対し適切な治療を選択できる。 ③生理的効果を理解する。 ④禁忌事項を理解する。 ⑤国家試験を解説出来るようにする。				
回数					担当教員
1回目	物理療法総論(分類と種類、位置づけ、臨床適応の流れ、実施、併用、リスク管理等)				水野 靖廣
2回目	温熱療法総論(熱エネルギー、比熱容量と熱伝導率、熱の移動等)、ホットパック、パラフィン浴				水野 靖廣
3回目	光線と光エネルギーの特性(放射線、紫外線、可視光線、赤外線、電波等)				水野 靖廣
4回目	エネルギー変換熱(熱の発生、誘電率と比吸収率、適応と禁忌、適応時間・回数等)				水野 靖廣
5回目	光線療法(光科学反応による作用)、紫外線療法、レーザー療法(作用、手順、適応と禁忌)				水野 靖廣
6回目	寒冷療法(伝導形態、RICE療法、一時的血管収縮、二次的血管拡張、乱調反応等)				水野 靖廣
7回目	確認テスト まとめ及び共有 ①				水野 靖廣
8回目	水治療法(静水圧、動水圧、浮力、抵抗、内臓への作用、手順、適応と禁忌等)				水野 靖廣
9回目	超音波療法(キャピテーション、半価層値、ピエゾ効果、ERAとBNR、手順、適応と禁忌等)				水野 靖廣
10回目	電気刺激療法(機能的電気刺激と治療的電気刺激、通電様式、クロナキシー等)				水野 靖廣
11回目	電気刺激療法(経皮的神経電気刺激、干渉波電流、ゲートコントロール理論等)				水野 靖廣
12回目	牽引療法(種類、効果、牽引力、牽引角度、牽引時間、適応と禁忌等)				水野 靖廣
13回目	国家試験総合問題(重要ポイントの解説、解説作り及び共有等)				水野 靖廣
14回目	確認テスト まとめ及び共有 ②				水野 靖廣
15回目	定期試験対策 まとめ				水野 靖廣
教科書及び参考書	・15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 物理療法学・実習 ・標準理学療法学 専門分野 物理療法学				
成績評価	定期テスト80%、小テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
物理療法は臨床において頻繁に実施する治療方法であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解することが必要です。そのためには基礎科目である生理学をしっかりと復習しておく必要があります。本講義において分からない点がある場合は積極的に質問して頂くのと同時に生理学を振り返りましょう。 なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。 授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
理学療法士として整形外科クリニックで実務経験がある教員が、生理学の基礎から応用される温熱や冷却、電磁波、音波、牽引等の治療原理や使用方法、適応、禁忌を実技を交えて指導します。国家試験問題も多く取り入れ展開しますので1回1回の授業を大切にしましょう。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 小児	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT3年
				曜日・時限	水1時限
担当教員	原田隆之				
授業概要	子どもの正常発達を学び、発達段階を理解していく。また、姿勢制御機構(原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応)の発達を学ぶことで、リハビリ内容とリンクさせて考えられるようにする。各種疾患による、障害の特徴を理解し、評価や治療へと展開していく。授業では、動画を多く取り入れ、イメージがつくように行っていく。				
学習目標	①正常発達の月齢を理解し、発達段階を予測できるようになる。 ②姿勢制御機構(原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応)について理解し、説明出来るようになる。 ③脳性麻痺などの各種疾患の障害像を理解し、適切な評価・治療が行えるようになる。				
回数					担当教員
1回目	小児理学療法概論、運動発達理論(神経成熟理論、アフォーダンス理論、ダイナミックシステムズ理論)				原田 隆之
2回目	胎児期の行動メカニズムについて				原田 隆之
3回目	運動発達概論と各種評価法(発達検査と運動発達検査)について				原田 隆之
4回目	正常運動発達(出生から歩行獲得までの発達過程)について				原田 隆之
5回目	姿勢制御機構の発達1(原始反射・姿勢反射)について				原田 隆之
6回目	姿勢制御機構の発達2(立ち直り反応・平衡反応)について				原田 隆之
7回目	運動発達、姿勢反射演習・実技				原田 隆之
8回目	脳性麻痺1(概念、疫学、原因と病理、各種分類)について				原田 隆之
9回目	脳性麻痺2(痙直型における、評価と介入)について				原田 隆之
10回目	脳性麻痺3(アトーゼ型における、評価と介入)について				原田 隆之
11回目	重症心身障がい児(概要、症状、評価と介入)について				原田 隆之
12回目	子どもの整形外科的疾患(二分脊椎、骨端症、先天性骨関節疾患)について				原田 隆之
13回目	子どもの遺伝性疾患(筋ジストロフィーに対する評価と介入)について				原田 隆之
14回目	知的障がいの概念と定義、ダウン症に対する評価と介入について				原田 隆之
15回目	障がい倫理・親の想いについて				原田 隆之
教科書及び参考書	小児理学療法学テキスト(南江堂) 講義配布資料				
成績評価	1. 筆記試験(90%) 2. 学習態度(10%) 以上を総合的に判断して、6割以上を合格とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
積極的に授業に参加し、疑問点などあればその場で解決出来るように質問してください。 現在、出生数は減少している中、医療の発展、高齢出産等の理由により、障がいを抱えているお子さんは増加しています。しかし、小児理学療法を受けられる社会資源は、充足していません。理学療法士を必要とされている領域です。小児理学療法に対して苦手意識を持たず、学習に取り組んでいきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
一般社団法人Re Smileでは、2012年に制度化された放課後等デイサービス(障がい児が学校後や休日に通う施設)において、全国でも珍しいリハビリに特化した運営を行なっています。講義の中では、利用児・ご家族の協力を得て、写真・動画を駆使しながら、実際のリハビリ現場をイメージしやすいように行なっていきます。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	医学情報処理学	授業 形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT3
				曜日・時限	水曜 2限、不定
担当教員	中東 大				
授業概要	理学療法士に必要な情報の中で特に画像の解釈についてを学んでいく。また、X線・CT・MRI画像の特徴やどの疾患に一番有効な検査かといった疾患に絡めた知識の探究も行っていく。そして、画像の解釈から症状を把握し、リハビリテーションを行っていくにあたって何を予想し、何に気を付けていかなければならないかにまで見識を広げて、来る実習に備えていく。余裕があれば血液検査や薬剤知識、多職種の代表である看護技術の基礎知識についても勉強していく。				
学習目標	①1年次に学習した解剖・生理、運動学の知識を今以上に向上させる。 ②X線・CT・MRI画像の特徴を理解し、画像と解剖学の知識をリンクすることができる。 ③画像から疾患の予測と、理学療法に対する症状の予測ができる。 ④疾患に対する他の検査データや薬剤についての知識を少しでも身につける。				
回数					担当教員
1回目	理学療法になぜ画像評価、検査・データや薬剤の知識が必要か。X線・CT・MRI画像の特徴。				中東 大
2回目	正常解剖(脳の構造について)、画像からの脳構造の読み取り、病変予測				中東 大
3回目	正常解剖(脊椎、四肢の構造について)、画像からの脊椎・四肢の読み取り、病変予測				中東 大
4回目	正常解剖(胸部の構造について)、画像からの胸部の読み取り、病変予測				中東 大
5回目	中枢神経系疾患①(脳梗塞、脳出血など)画像の読み取りと症状予測と理学療法、小テスト①				中東 大
6回目	中枢神経系疾患②(頭部外傷、慢性硬膜下血腫など)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
7回目	中枢神経系疾患③(脳腫瘍、神経変性疾患、認知症など)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
8回目	運動器系疾患①(脊椎疾患)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
9回目	運動器系疾患②(上肢)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
10回目	運動器系疾患③(骨盤)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
11回目	運動器系疾患④(下肢)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
12回目	運動器系疾患⑤(リウマチ、スポーツ障害など)画像の読み取りと症状予測と理学療法、小テスト②				中東 大
13回目	呼吸器疾患(肺炎、COPDなど)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
14回目	循環器系疾患(心不全、大動脈瘤など)画像の読み取りと症状予測と理学療法				中東 大
15回目	今まで学習した画像の読み取りとそこから考えられる理学療法についてを総復習する。				中東 大
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻 画像評価 /医学書院 病気が見えるシリーズ→随時連絡します。				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト2回(10%×2)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>リハビリテーション計画において、生じている疾患や外傷の診断を確認し、そこから障害を評価して予後予測することが必要になります。そのためには画像評価が必要となり、同時に医師や看護師など、他の医療スタッフの情報も理解しなければなりません。まずは画像理解の学習を行い、理解度をみながら検査・データ、治療法、薬剤、看護技術等も学んでいこうと思います。リハビリテーションだけでなく医学全般に興味をもって取り組んでください。また、画像や検査データの理解をするためには解剖学と生理学の知識、また疾患の概要は不可欠なので随時復習していきます。3年生後期の授業ということでほとんどの項目が復習になるかと思いますが、繰り返しの学習で知識の定着を図っていきましょう。 ※新型コロナ感染防止または進行状況により内容が変わることがあります。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>急性期病院、維持期病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム、クリニック等で働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。そして医学情報ということからリハビリテーションのみの知識だけでなく他職種がどのような対応をするのかも学習していければと思います。</p>					

権利擁護と成年後見(3190)		吉安功一		併修科目・必修	
				3年	
				PT水曜3限 OT水曜4限	
授業のねらい	日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することが多い専門職として、鋭い人権感覚を身につけておくことは重要である。相談援助と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む）との関わり、成年後見制度（後見人等の役割を含む）、日常生活自立支援事業について学習する。そして、社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護の実践について理解する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート1	ソーシャルワーカーとして成年後見活動を行う上での留意点について権利擁護の視点から具体的に述べよ。		下書	授業中指示する
	(ポイント)	社会福祉士、精神保健福祉士が成年後見活動を行う上で、「身上監護」を中核に位置づけていくことが課題となる。権利擁護の具現化としての成年後見制度の位置づけと、ソーシャルワーカーとして後見活動を考察すること。		清書	
	科目終了試験	学修のポイント1 法定後見制度について 学修のポイント4 成年後見制度の最近の動向と課題について 学修のポイント6 権利擁護にかかわる組織・団体について		科目終了試験 実施予定日は授業中に指示する	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション				
2	レポート対策(相談援助の活動と法)				
3	レポート対策(成年後見制度:成年後見、保佐・補助の概要、申立て)				
4	レポート対策(成年後見制度:成年後見制度の義務と責任、動向について)				
5	レポート対策(成年後見制度:SWと権利擁護、日常生活自立支援事業について)				
6	レポート対策(レポート清書作成)				
7	学修のポイント1対策(法定後見制度について)				
8	学修のポイント1対策(法定後見制度について)				
9	学修のポイント4対策(成年後見制度の最近の動向と課題について)				
10	学修のポイント4対策(成年後見制度の最近の動向と課題について)				
11	学修のポイント6対策(権利擁護にかかわる組織・団体について)				
12	学修のポイント6対策(権利擁護にかかわる組織・団体について)				
13	科目終了試験対策①				
14	科目終了試験対策②				
15	科目終了試験				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの ^ア 切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	義肢装具学(講義+演習)	授業 形態	講義・演習・実習		学科・年次	PT3年・2021年度
					曜日・時限	木曜・1、2限
担当教員	廣島 淳					
授業概要	義肢・装具の変遷、近年の適応、名称、種類及び構造、機能評価法を学び、義肢を使用する切断患者のリハビリテーションや装具を使用するリハビリテーションの実際について学習する。					
学習目標	①装具の種類、構造、機能、適応について説明できる。 ②義肢の切断部位に対する種類、構造、機能、適応について説明できる。 ③各疾患に対して使用する装具のデザインと目的、必要な評価、使用方法を説明できる。 ④目的に合わせて、簡単な装具を製作できる。					
回数						担当教員
1回目	義肢装具総論、リハビリテーションにおける義肢装具の役割 P190～194					廣島 淳
2回目	義肢装具の支給体系、健康保険の仕組み、医療従事者の関連性 P18、P65～79、P190～194					廣島 淳
3回目	体幹装具 体幹装具に関する基礎知識と症例に対する装具療法の展開 P194、P276～277、P348					廣島 淳
4回目	体幹装具 P194、P197～198、P272～287、P292					廣島 淳
5回目	上肢装具 指、MP、対立、手関節 P192、P197～199、P209、P214、P300～302、P307～P341、P348～350					廣島 淳
6回目	上肢装具 把持、肘、肩 P192、P207～209、P213～216、P248～249、P257～259、P300、P314～315、P332～341、P348～349					廣島 淳
7回目	演習 手関節装具の製作(プリント)					廣島 淳
8回目	演習 手関節装具の製作(プリント)					廣島 淳
9回目	下肢装具 足底装具 演習(フットプリント) P193、P265～271、P298～299、P346～348					廣島 淳
10回目	下肢装具 短下肢 P193、P203～207、P210～214、P222～224、P238～239、P251～252、P255～256、P303～304、P346～347					廣島 淳
11回目	下肢装具 膝、長下肢 P193、P201～206、P209～226、P239～241、P249～250、P252～P255、P302～P304、P342～346					廣島 淳
12回目	下肢装具 小児、靴型 P193、P217～P247、P260～271、P288～296					廣島 淳
13回目	義足概論 義足の基礎知識 P70～79、P120～P188					廣島 淳
14回目	義足概論 義足の基本構造 チェックポイント P120～188、P357～358					廣島 淳
15回目	義手概論 義手の基礎知識 P65～68、P70～119、P357～358					廣島 淳
教科書及び 参考書	義肢装具学(医学書院) 義肢装具のチェックポイント(医学書院) 手のスプリントのすべて(三輪書店)					
成績評価	筆記試験(80%) 出席率(10%) 授業態度(10%) で評価する					
学生へのメッセージ(受講上の留意点)						
<p>授業では実物の義肢・装具を使用し回覧しますので、動かしてみたり装着してみたりして、質感やデザイン、ベルトの位置などをよく観察して理解を深めて下さい。義肢・装具に興味を持ち、疑問点は積極的に質問をして下さい。 尚、睡魔に襲われた時には、教室の横や後ろに立って聞くなり、トイレに行って顔を洗うなり自分自身で工夫して下さい。</p>						
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。						
<p>医療機関等で義肢装具士として、現在も活躍中である非常勤講師が、体験談などを交え、義肢装具の概要を講義し、国家試験に必要な知識を学ぶ科目である。</p>						

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	就職対策	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	不定期
担当教員	清水、立石、村田 薫克、宮澤 幸児、中東 大、富久 哲郎、水野 靖廣				
授業概要	就職活動の手引きを基に、就職活動に必要な基本的な知識やマナーについて講義します。その後、専任教員による履歴書の記入、手紙の書き方、面接試験の心得、求人状況の把握、模擬面接試験などの実技・演習を実施し、キャリアプランと職業選択、キャリア形成とストレスマネジメントを履修していきます。				
学習目標	①就職活動に必要な基本的な知識やマナーを身につけましょう。 ②就職活動に必要な履歴書、手紙の書き方を身に付けましょう。 ③就職希望をする領域、地域を知りましょう。 ④実際の面接試験を想定し準備をしましょう。 ⑤キャリアプランと職業選択、キャリア形成とストレスマネジメントについて知りましょう。				
回数					担当教員
1回目	自己分析、他己分析(エゴグラム、グループワーク)				清水 万祐子
2回目	自己PR、志望動機等(PREP法、作文)				清水 万祐子
3回目	求人票の見方、労働条件の優先順位				清水 万祐子
4回目	病院・施設へのアプローチについて、電話のかけ方の実技・演習、病院・施設訪問のマナー				富久 哲郎
5回目	履歴書の記入、履歴書を封筒に入れる時に確認すること 実技・演習				水野 靖廣
6回目	手紙の書き方(基本事項、基本構成、種類と例文) 実技・演習				宮澤 幸児
7回目	就職試験の概要、面接試験の心得、採用内定について、進路内定後の手続きについて 実技・演習				中東 大
8回目	リハビリテーションの主な領域(段階、対象疾患による分類)、興味のある地域の求人状況 調べ学習				中東 大
9回目	面接質問集の作成(質問、返答のポイント、あなたの答え) 実技・演習				村田 薫克
10回目	模擬面接対策 シナリオ作成、個別・集団面接のロールプレイ(グループワーク)①				富久 哲郎
11回目	模擬面接対策 シナリオ作成、個別・集団面接のロールプレイ(グループワーク)②				村田 薫克
12回目	模擬面接 実技・演習①、レポート課題(模擬試験振り返り)				水野 靖廣
13回目	模擬面接 実技・演習②、レポート課題(模擬試験振り返り)				富久 哲郎
14回目	キャリアプランと職業選択(理論と演習)				立石 佳代
15回目	キャリア形成とストレスマネジメントの実践的な方法				立石 佳代
教科書及び参考書	就職活動の手引き				
成績評価	面接50%、提出物30%、授業態度10%、出席10%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>この科目は、皆さんが就職活動を円滑にかつ積極的に展開できるよう、就職面接試験、一般教養・時事問題等の筆記試験や適性試験といった就職活動への対策を行います。さらに社会人としてのマナーを身につけることを目標としていますので、遅刻・居眠り・忘れ物・課題の提出状況等の授業への取り組み姿勢を評価とし、面接に関する授業で評価します。1回目でお渡しする就職の手引きは毎回持参してください。</p> <p>尚、授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>就職活動において面接は採用試験の中でもっとも重視されており、ほぼ実施されます。実際、面接試験では想像以上の緊張を私たちも経験いたしました。少しでも準備をして臨んでもらいたいと考えます。</p> <p>また、面接は採用の決め手ともなるので、面接担当者に興味を持ってもらえる話題を簡潔に伝えられるよう、十分な準備を行いましょう。</p>					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 代謝疾患	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	金曜日・3限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	栄養素は生命活動や作業に必須のエネルギー源であり、栄養管理なくして身体組織も活動や作業も成立しません。一方、この栄養摂取とエネルギー代謝障害の代表的な疾患である糖尿病は、世界で最も罹患人口が多いと言われています。本講義では糖尿病を中心に脂質や尿酸などの代謝障害を学びその病態や発症メカニズムと症状、検査および診断、治療に対する考え方を学びます。				
学習目標	①栄養素の同化と異化、エネルギー供給系を理解する。 ②代謝、内分泌系疾患の定義、種類、特徴などを理解する。 ③代謝、内分泌系疾患に対する運動療法の意義や基本的考え方を理解する。 ④代謝、内分泌系疾患に対するリスク管理について理解する。 ⑤代謝、内分泌系疾患の国家試験を理解する。				
回数					担当教員
1回目	総論(同化と異化、三大栄養素の消化酵素、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系等)				水野 靖廣
2回目	エネルギー代謝(呼吸商、代謝当量、基礎代謝、特異動的作用、エネルギー代謝率等)				水野 靖廣
3回目	体温調節(正常体温、体温調節、部位別の熱産生、調節機序、体温上昇による生体反応等)				水野 靖廣
4回目	糖代謝総論(糖の役割・利用、インスリンの作用、血糖調節とホルモン、GLUT4等)				水野 靖廣
5回目	糖代謝異常(病態、1型・2型糖尿病の発症機序、症状・臨床所見、検査・診断・治療等)				水野 靖廣
6回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての調べ学習				水野 靖廣
7回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての発表、確認問題				水野 靖廣
8回目	脂質代謝(脂質の種類と役割、脂質の分画、脂質代謝経路、脂質異常症の合併症等)				水野 靖廣
9回目	肥満症(肥満の種類、判定方法、コレステロールの分類、メタボリックシンドローム等)				水野 靖廣
10回目	尿酸代謝(尿酸の役割、代謝機序、合併症等)、骨代謝(骨のリモデリング、骨粗鬆症等)				水野 靖廣
11回目	確認テスト まとめ及び共有①				水野 靖廣
12回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての調べ学習				水野 靖廣
13回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての発表、確認問題				水野 靖廣
14回目	まとめ及び共有②				水野 靖廣
15回目	定期試験対策				水野 靖廣
教科書及び参考書	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌(発行者 岡西 豊、出版所 メディックメディア)				
成績評価	定期テスト80%、小テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>代謝疾患は脳血管障害などの合併症として、臨床で頻繁に対応を求められる学問であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解することが必要です。そのためには基礎科目である生理学をしっかりと復習しておく必要があります。本講義において分からない点がある場合は積極的に質問して頂くのと同時に生理学を振り返りましょう。</p> <p>なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。</p> <p>授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、エネルギー供給機構から糖尿病をはじめとした様々な代謝疾患及び内分泌疾患の成因からアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。</p>					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形	授業形態	講義 演習 実習	学科・年次	理学療法学科 3年
				曜日・時限	金曜 不定
担当教員	村田 薫克				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科学の基本的な知識を整理しながら、理学療法士としてのリハビリテーションの方法(運動器疾患に対する)を学ぶ。 ・実際の運動器疾患に対する評価方法を実技を用い学ぶ。(基本的な評価法を理解し運動器疾患に応用する) ・疾患別の運動器疾患に対する治療を実技を用い学ぶ。 				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 整形外科疾患の病態の理解を行う。 2. 整形疾患に対するリハビリテーション全般の整理を行う。 3. 運動器疾患に対する評価を学ぶ。 4. 運動器疾患特有の運動療法を学ぶ。 5. 実習で実施できる基本的な評価・治療実技をみにつける。 				
回数					担当教員
1回目	組織の再生と修復				村田薫克
2回目	骨折と脱臼1 (上肢、下肢の骨折・脱臼の評価と治療:肩関節脱臼、大腿骨頸部骨折等)				村田薫克
3回目	骨折と脱臼2 (上肢、下肢の骨折・脱臼の評価と治療:肩関節脱臼、大腿骨頸部骨折等)				村田薫克
4回目	変形性股・膝関節症1 (評価と治療)				村田薫克
5回目	変形性股・膝関節症2 (評価と治療)				村田薫克
6回目	関節リウマチ (評価と治療)				村田薫克
7回目	末梢神経損傷 (正中神経麻痺、尺骨神経麻痺等の評価と治療)				村田薫克
8回目	まとめ				村田薫克
9回目	脊椎疾患 (脊椎圧迫骨折などの評価と治療)				村田薫克
10回目	肩関節疾患1 (肩関節周囲炎などの評価と治療)				村田薫克
11回目	肩関節疾患2 (肩関節周囲炎などの評価と治療)				村田薫克
12回目	肩関節疾患3 (肩関節周囲炎などの評価と治療)				村田薫克
13回目	靭帯損傷と半月板損傷1 (前十字靭帯損傷などの評価と治療)				村田薫克
14回目	靭帯損傷と半月板損傷2 (前十字靭帯損傷などの評価と治療)				村田薫克
15回目	まとめ				村田薫克
教科書及び参考書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ 病気が見える 運動器・整形外科、配布資料(随時)				
成績評価	定期テスト80%、提出物・小テスト20% 欠席、態度不良、および教科書、配布資料を忘れた場合は減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
整形外科疾患(運動器疾患)は、実習にて対象となる最も多い疾患の一つですまた国家試験でも多くの関連する問題が出題されます。また、日常でも自身の痛みまたは家族の関節の痛みも理解できるようになります。問題がある関節に対し、医療機関で診断を受け、自身でもトレーニングし改善できる知識を身につけていただければと考えます。 1月から始まる実習に対しても、知識を整理し、実習でもスムーズに実技が進められるよう集中して取り組んでいきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
大学病院で急性期の医療を経験しました。また、整形外科クリニックで地域医療を行っています。そこでの実務経験を活かし、骨折患者や痛みのある患者様等の運動器障害に対する評価や治療やリスク管理について具体的な事例も提示しながら、実技を含め授業を進めていきます。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	評価実習事前・事後指導	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	不定期
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	本講義では評価実習に向けて症例レポートの作成方法から学び実際に実施し知識のまとめ方を学んでいきます。その後、基本的な評価技術をOSCEを通じて修得し実習に備えます。また、実習後の症例発表会において様々な疾患の患者様を知り、病態、問題点やアプローチ方法など幅広く学んでいきます。				
学習目標	①評価実習の目的を理解する。 ②評価実習に向けて症例レポートの作成方法を学び知識のまとめ方を理解する。 ③OSCEを通じて評価技術、臨床適応能力を向上させる。 ④症例発表会を通じて様々な病態、問題点、アプローチ方法を知る。				
回数					担当教員
1回目	症例レポートの書き方①(レポートの書式に関するチェックポイントなど)				水野 靖廣
2回目	症例レポートの書き方②(レポートの書式に関するチェックポイントなど)、症例レポート提示				水野 靖廣
3回目	症例レポート 作成①				水野 靖廣
4回目	症例レポート 作成②				水野 靖廣
5回目	症例レポート 作成③				水野 靖廣
6回目	症例レポート 作成④				水野 靖廣
7回目	症例レポート 作成⑤				水野 靖廣
8回目	評価実習資料作成、OSCE 症例提示				水野 靖廣
9回目	OSCE 実技試験対策				水野 靖廣
10回目	模擬試験 復習及び共有①				水野 靖廣
11回目	模擬試験 復習及び共有②				水野 靖廣
12回目	評価実習 症例レポート 症例検討会①				水野 靖廣
13回目	評価実習 症例レポート 症例検討会②				水野 靖廣
14回目	評価実習 症例レポート 症例検討会③				水野 靖廣
15回目	評価実習 症例レポート 症例検討会④				水野 靖廣
教科書及び参考書	6ステップで組み立てる 理学療法 臨床実習ガイド				
成績評価	症例レポート(30点)、OSCE(40点)、模擬試験(30点)、出席(減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>見学実習は主に理学療法士の業務形態や職域、医療機関の雰囲気など見学を中心に学んでいきます。評価実習では学生が患者様に触れ評価し問題点を抽出し適切なアプローチを立案する能力が求められます。見学実習と比較し、到達目標が高くなっていますので受動的ではなく能動的に集中して講義に参加して下さい。</p> <p>なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきますが進度は、理解度に応じました、コロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>理学療法士として整形外科クリニックで実務経験がある教員が、評価実習に向けて実習の意義、レポート作成の方法、OSCEを通じての社会人、理学療法士としてのマナーの習得、評価技術の向上を図ります。また、実習後には症例検討会などで幅広い知識を習得する講義である。</p>					